

岩舟地域包括支援センター 担当

日 時： 令和7年7月16日（水）午後2時10分～2時40分

開催方法： 栃木市役所大平総合支所 第3会議室

事例数： 1 ケース

参加者数： 10 名

事例提供者 1 名、助言者 5 名、サービス事業者 1 名

包括職員 2 名、傍聴者 1 名

糖尿病、認知症で物忘れのある元医療職の 76 歳独居女性

〈目標〉1日:毎日散歩へ出掛けられるようにする。

1年:身体を丈夫に過ごしていける。

利用サービス：緩和型訪問介護サービス、配食サービス

《生活全般の解決すべき課題》

- ・調理の支援を受けることで血糖値の上がりにくい食事が食べられる。
- ・内服が確実にでき、体調良く生活したい。

《助言者からの助言内容》

- ・本氏が意見を受け入れやすいキーパーソンの確認を行い、支援への協力を依頼する。
- ・健康状態の管理を行うためにも主治医との連携や歯科受診を勧奨し、口腔内の状態を確認ができることよい。
- ・栄養状態改善のため、本氏の意思を確認しながら野菜を取り入れた食事の提供を促していく。
- ・活動量増加のため、運動の紹介や定期的な運動機会を確保できる社会資源の提案を行う。
- ・屋外の環境整備のための社会資源を紹介する。



認知症の症状により健康状態の管理が難しくなっているため、キーパーソンになる方と共に本人の意思を確認しながら支援を行っていく。

☆地域課題（地域に不足、再構築を図りたい支援・サービス等）

- ・認知症症状のある高齢者が交流できる機会の確保が必要である。
- ・地域における認知症への理解促進が必要である。